

【第23回分科会のテーマ：－魅せるグラフ作成】

数値のビジュアル化は、データ分析やプレゼン資料に作成する上で欠かせないスキル、グラフを上手く活用することで、数値の変化や傾向を視覚的に読み解ける。エクセルには、棒グラフ、折れ線グラフ、円グラフなど多種多様なグラフが用意されている。今回はグラフ毎の修飾や編集機能を活用して「魅せるグラフ」を紹介します。

※教本（2021年版）86P～91P参照  
（2024年版）86P～91P参照

## 第1章 グラフは何のために作るか

### 1-1 表だけでは分かりにくい

数字の表は、

- ・どれが多い？ ・増えている？減っている？が分かりにくいです。

➡ グラフは「数字を絵にする道具」です。

### 1-2 良いグラフ・悪いグラフ

良いグラフ

- ・何を言いたいががすぐ分かる ・色が少なく、文字が大きい

悪いグラフ

- ・色が多すぎる ・文字が小さい ・グラフの種類が合っていない

## 第2章 よく使うグラフは3つだけ 次の3つだけ習得すれば十分です。

### ①棒グラフ（くらべる）

- ・年ごとの売上 ・人数の比較

➡ 一番よく使う基本のグラフ

### ②折れ線グラフ（増えた・減った）

- ・年月の変化 ・温度、体重、貯金の推移

➡ 流れを見るグラフ

### ③円グラフ（割合）

- ・全体の中の内訳（例 家計の内訳、支出割合等）

➡ 円グラフは割合を示すグラフで、割合は比較しにくい

（参考）今回は棒グラフと折れ線の複合グラフも作成する

### 第3章 棒グラフ作成

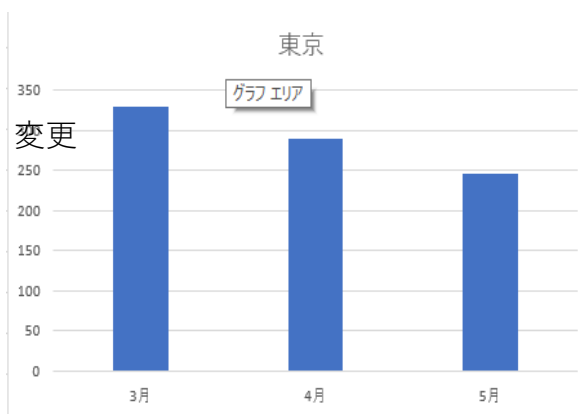
元になるデータ表を EXCEL で作る

- ①マウスで表をドラッグして範囲を指定する
- ②「挿入」タブをクリック
- ③「縦棒グラフ」をクリック
- ④「集合縦棒」をクリック → これでグラフ完成

#### 👉魅せるグラフ

- ①「配置」や「サイズ」「フォント」

- ・「グラフエリア」にカーソルを置き、適度の位置やサイズ変更

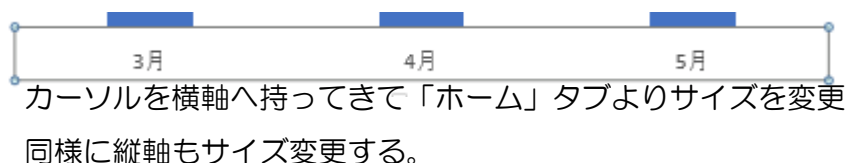


- ・「グラフタイトル」を変更させる

(例)「東京」⇒「東京地区新製品月別売上」に変更、フォントを「創英角ポップ体」に変更

- ・縦軸、横軸のサイズを変更

(例)「横軸」「縦軸」サイズを「8」⇒「16」へ変更して見やすくする

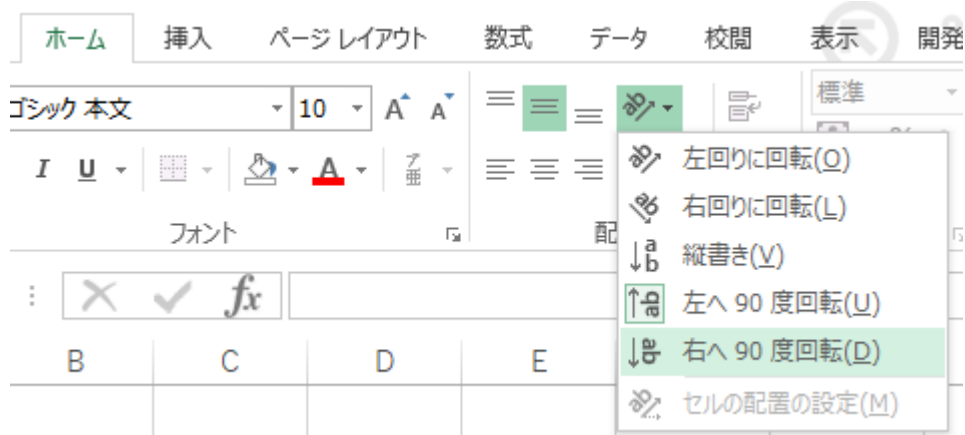


- ②軸ラベルを追加する

- ・「グラフ要素を追加」機能を使い、様々な要素をグラフに追加する。  
「縦軸」にカーソル、「デザイン」タブより「グラフ要素を追加」を選ぶ。  
「軸ラベル」⇒「第1縦軸」を選ぶ。  
「ホーム」タブより「方向」ボタンを押す。



(例) 縦軸に「百万円」と入力、「方向」ボタン⇒「右へ 90 度回転」ボタンを押す。



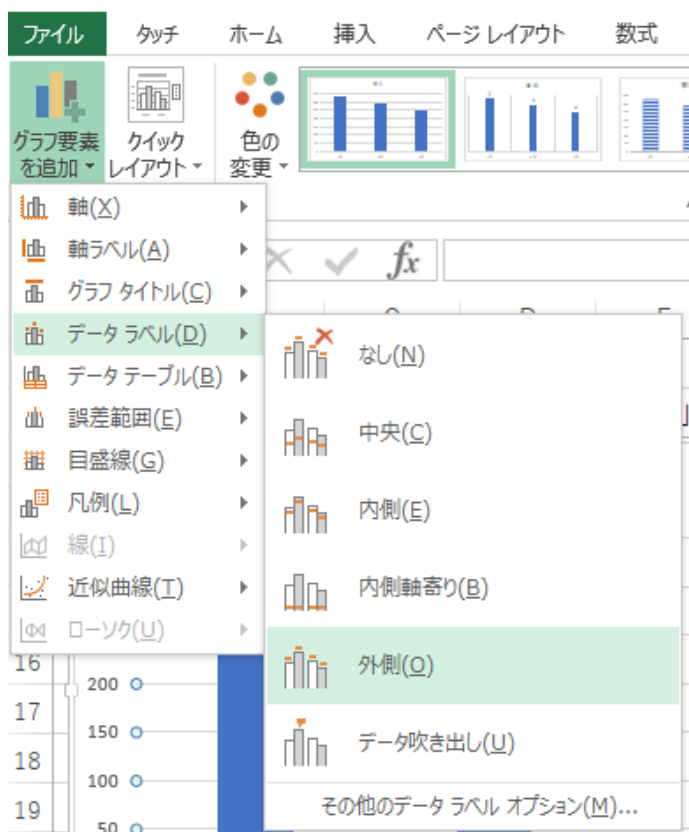
「百万円」を上移動して完成。

### ③ データラベルを追加する。

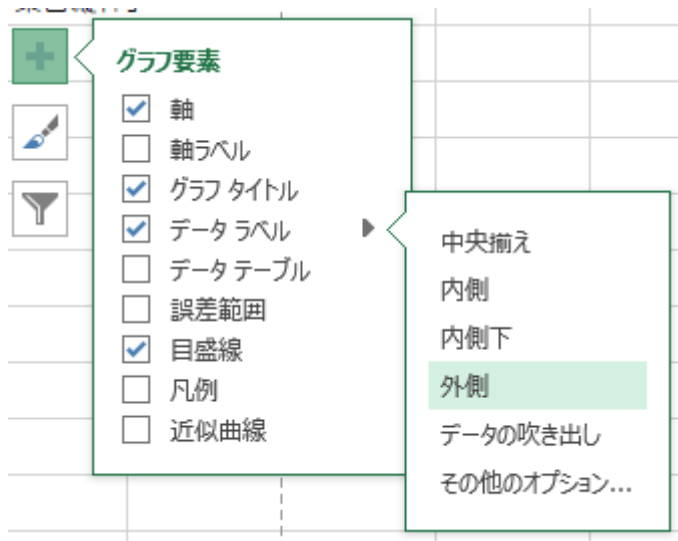
「データラベル」を追加して夫々のデータ要素の値を表示させる。

グラフの具体的な数値をグラフ上で見たい場合は便利です。

- 「グラフのデザイン」 ⇒ 「グラフの要素を追加」 ⇒ 「データラベル」 ⇒ 「外側」 ⇒ 外側サイズ変更する。



※グラフボタンを活用すると同じ事が早くできる。



※同様に「支店別月別売上」も作成しておいて下さい。

(講義ではざっくりと説明します)

『グラフフィルター』 → 『データの選択』 → 『行/列の切り替え』 ⇒ 『OK』

#### 第4章 折れ線グラフ作成

棒グラフと同様に「折れ線グラフ」を選択

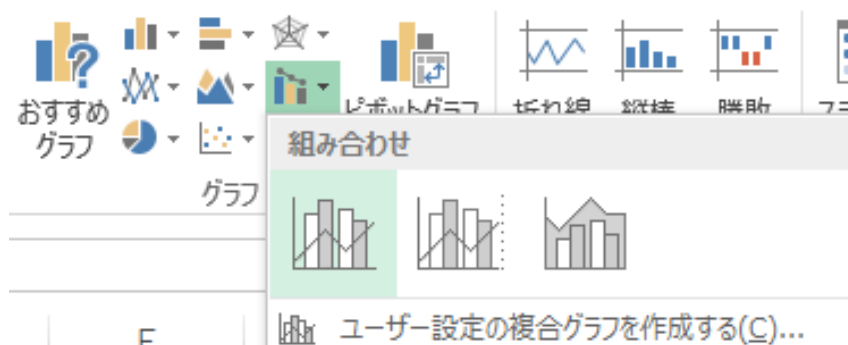
- ・「範囲指定」 ⇒ 「挿入」 ⇒ 「折れ線グラフ挿入」 ⇒ 「折れ線」
- ・「グラフタイトル」 入力
- ・「軸ラベル」 ⇒ 「第1縦軸」を選ぶ。

「ホーム」タブより「方向」ボタンを押す。

#### 第5章 複合グラフ作成

一つのエリアに、種類の異なる複数のグラフを配置したものを「複合グラフ」と呼ぶ。

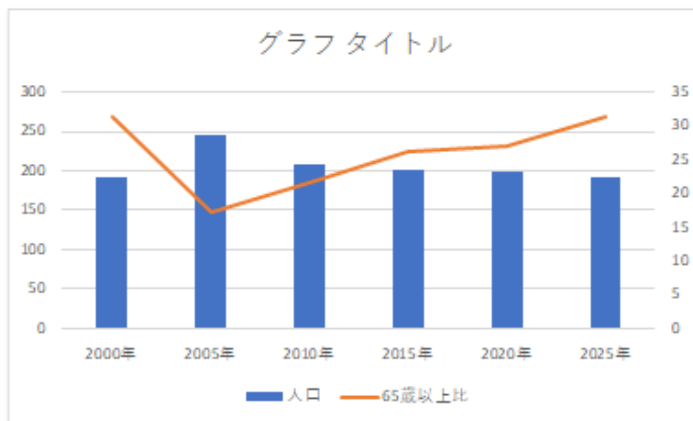
- ・「範囲指定」 ⇒ 「挿入」 ⇒ 「複合グラフ挿入」 ⇒ 「ユーザー設定の複合グラフを作成する」



- 「グラフタイトル」入力
- 「ユーザー設定の組み合わせ」クリック
- 其々の系列名に、グラフの種類、第2軸をチェックを入れる



### ユーザー設定の組み合わせ



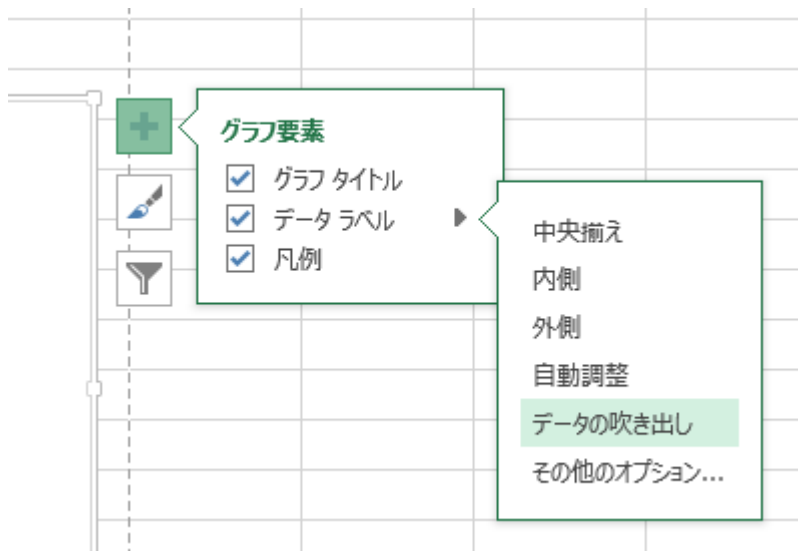
データ系列に使用するグラフの種類と軸を選択してください:

系列名	グラフの種類	第2軸
人口	集合縦棒	<input type="checkbox"/>
65歳以上比	折れ線	<input checked="" type="checkbox"/>

⇒一つは棒グラフ、もう一つは折れ線グラフで表示される。

### 第6章 円グラフ作成

- 「範囲指定」⇒「挿入」⇒「円グラフ挿入」⇒「円」
- 「グラフタイトル」入力⇒グラフ要素⇒「データラベル」⇒「データの吹き出し」



※円グラフの特徴

- 項目が多い場合は不向き
- 構成比が一目でわかる
- 比較には不向き

以 上